

PI-Forum 誌編集委員から

日本人には討論をする土壌がないと言われることがあります。参加型手法の実験をしてみると必ずしもそうではないことがわかります。ただ、例えば「議論好き」と言われるドイツ人は討論することに「慣れている」という面があり、それは初等教育から議論の訓練がなされているからだと言われます。田原氏の論文で紹介されている討議型世論調査の実験は、討論する機会が比較的少ないと思われる日本において、その機会を提供するという意味でも重要な取り組みであったのではないのでしょうか。(久保 in Freiburg im Breisgau)

今回ご紹介した地球の友中東(FoEME)は、政治・軍事的に不安定な状況が続く中東において、イスラエル・パレスチナ・ヨルダンの3ヶ国にまたがる人的・組織的ネットワークを構築・維持し、まさにヨルダン川にかかる人の架け橋となっています。“Let the Jordan River Flow”(ヨルダン川の流れを取り戻そう)、“Crossing the Jordan”(ヨルダン川を渡ろう)。さらにはヨルダン河谷を世界遺産に、と、構想力と行動力あふれる草の根ネットワークを、ぜひ日本の皆さんに知っていただき、支援していただければと思っています。(西原)

全国各地多様な分野において、社会的な合意形成が行なわれるようになってきました。このような中で、私個人は地域の問題解決を切に願い行動している住民、NPO、行政、企業、大学の方々に対する合意形成のお手伝いを始めました。聖徳太子の時代から脈々と受け継がれ洗練されてきた「和の実学」を勉強し、欧米の分析的手法とを組み合わせ、地域

の合意形成への適用を試みています。素直に純粹に一人一人と地域全体のことを想い、丁寧な傾聴を重ねることで、ボタンの掛け違いをなくし、纏れ固まってしまった人間関係を解きほぐし、問題解決にあたることのできる、そんな仮説を実証的に検証していくことを今後10年の課題としています。(水谷)

約2年ぶりの復刊です。本来は公募原稿も募集する予定であったのですが、まずは復刊を急ぐという趣旨で、今回は公募原稿を募集しませんでした。次号では必ず募集しますので、何か新しい話題を提供したい方はぜひ、次号で応募ください。PI-Forum誌は多様な言説(discourse)が討議(deliberate)される劇場・競技場(arena)となるべく、多様性に心がけた紙面構成を心がけています。今回も、手法から実践まで、国内外から興味深い原稿が集まりました。ぜひご一読いただき、読者のみなさまによる新たな活動や理論へとつながれば幸いです。(松浦)

PI-Forum 誌編集委員 (第3号担当)

松浦 正浩(編集総括)[PI-Forum 理事]

東京大学公共政策大学院 客員講師

久保 はるか

甲南大学法学部法学科 助教授

西原 弘

有限会社サステイナブル・デザイン研究所 代表取締役

水谷 香織[PI-Forum 理事]

(株)パブリック・ハーツ 代表取締役

PI-Forum 誌 公募原稿募集

PI-Forum 誌は、公共政策、公共事業、まちづくりなどの分野における社会的合意形成に関する研究や事例を、実務家と研究者が幅広く情報共有することを目的に、年1回発行されます。PI-Forum 誌はインターネット(ウェブサイトからのダウンロード)と郵送で配布されます。社会的合意形成の諸課題に関心のある行政職員、大学研究者、コンサルタントの目に留まることが期待され、みなさまの研究と実践の成果発表、広報の場として、大きな効果が期待されます。

第4号についても、事例研究から文献レビューまで、原稿を幅広く公募する予定です。なお、原稿はA4判2段組2~4ページ(写真図表等込)で、投稿料は無料です。採用された原稿の著作権はNPO法人ピーアイフォーラムに帰属します。

詳細が決まり次第、PI-Forumのウェブサイト <http://www.pi-forum.org/> にて公募要領を公表いたします。

PI-Forum 誌 広告出稿募集

PI-Forum 誌は幅広い情報の共有と伝播を目的に、インターネット上で無料配布しておりますが、インターネットの維持管理費用、各種研究機関への冊子版無償配布費用、その他郵送費、通信費などを広告収入により捻出しております。PI-Forum 誌(冊子版)は、行政機関や各種研究機関の公共政策、合意形成、社会資本整備に特に関心の高い方々を対象に無償配布しており、当該分野に関連する広告効果はきわめて高いと自負しております。公共政策分野のお仕事をなさっているみなさま、ぜひ広告出稿をご検討ください。広告出稿に関するお問い合わせは info@pi-forum.org (担当:松浦)までお願いします。

NPO 法人 *PI-Forum* のご案内

いま、何が問題か？

近年、環境問題、まちづくり、社会資本整備、ゴミ処理施設立地等様々な分野で、行政対市民、地域対地域など関係者間の利害対立、信頼感の欠如といった問題となっています。その結果、社会として解決すべき問題が放置され、誰もが納得できるプロセス、解が存在しないことによる社会的損失が発生している事例が多く見られると考えられます。また、生命工学等の新たな科学技術の導入に関しても、多様な価値観を持つ国民間のコンセンサス形成も課題となっています。ここでは、あるべき政策を立案・選択していく上で、合意形成の仕組み・技術・知恵を社会全体の財産とすることが課題解決の大きな鍵となっていると考えられます。

PI-Forum の役割

我々は、合意形成の重要性に対する社会的な認識を高め、中立的立場から合意形成の仕組み・技術・知恵を社会に提供します。

PI-Forum の目指すもの

我々は、行政が政策決定過程に市民の参加を促すとともに市民一人一人が積極的に発議するための新しい合意形成の仕組みを提案し、提供することにより、市民が主体的に合意形成の取り組みに参画する社会を実現するとともに公共サービスの満足度を高めることを目指しています。

PI 3つの定義

<i>Public Involvement</i>	行政が政策決定過程に市民の参画を進めること
<i>Partnership Incubation</i>	パートナーシップを育む環境をつくること
<i>Public Initiative</i>	市民一人一人が積極的に発議・提案していくこと

役員（2007年7月現在）

理事長	城山英明（東京大学大学院法学政治学研究科 教授）
副理事長	水谷香織（パブリック・ハーツ株式会社 代表取締役）
理事	石川雄章（東京大学大学院情報学環 特任教授）、梅本嗣（(株)博報堂 ソーシャルマーケティングコンサルタント）、菊池豊（高知工科大学総合研究所 准教授）、田熊伸好（(株)日立コンサルティング マネージングディレクター）、田中秀明（政策研究大学院大学 客員教授）、松浦正浩（東京大学公共政策大学院 客員講師）、矢嶋宏光（(財)計量計画研究所PI研究室 室長）、山中英生（徳島大学大学院ソシオテクノサイエンス研究部 教授）
監事	鈴木達治郎（(財)電力中央研究所 上席研究員）

PI-Forum 最近の活動報告

◆メールマガジン・ウェブサイトによる情報提供

実務家へのインタビュー、イベント報告、書評など最新情報満載のメールマガジン（購読無料・毎月発行）、ワークショップ等イベントの記録、映像情報など満載のウェブサイトなどを通じ、3つの *PI* に関連する情報を幅広く提供しています。詳しくは <http://www.pi-forum.org/> をご覧ください。

◆第4期異分野 *PI* 交流ワークショップ2006

第1回 組織間コラボレーションの課題～コンセンサス・ビルディング手法の実践事例から（2006年8月2日開催）

第2回 市民参加や合意形成の場における倫理コード～市民参加や合意形成の場に倫理コードは必要か（2006年9月28日開催）

◆*PI-Forum* が考える *PI* 指針（「市民参加」の重要なポイント）ドラフト ver.03（2006年3月）

近年、様々な分野で、公共政策の過程に市民参加型のプロセスを取り入れるケースが増加し、市民参加のルールをガイドライン化しようという動きも活発化してきました。そこで *PI-Forum* では、より良い市民参加の普及を支援するために、市民参加にとっての重要なポイントを明らかにすることが必要だと考え、専門家や実務者の意見を反映して文書化した『*PI* 指針案(ver.03)』を作成しました。市民参加の重要なポイントとして、コア・バリューと5つの基本的な考え方の他、具体的な運用の方法についての記述が含まれています。

PI-Forum ご参加のおさそい

PI-Forum では、市民団体、大学、行政、民間等の幅広い分野・立場の方々のプラットフォームを形成するため、幅広く会員を募集しております。*PI-Forum* の自主的・独立的な活動は、会員、協力者に方々によって支えられています。ぜひ、ご入会を検討下さい。

会員特典

- (1) *PI-Forum* 主催の各種イベントに優先参加受付、参加費割引
- (2) 会員メーリングリストや会員フォーラムをはじめとする議論・親交の場への参加
- (3) 会員提案型事業への参加・支援
- (4) *PI-Forum* 主催の各種プロジェクトに主体的に参加

会費

正会員：入会金 3,000 円 年会費 6,000 円

学生会員：入会金 3,000 円 年会費 2,000 円

会員期間

年度会員制度（5月1日～4月30日）で、申込みは四半期ごとの受付となります。

会員お申込は

PI-Forum のホームページ <http://www.pi-forum.org/> から申込書をダウンロードいただくか、*PI-Forum* 事務局まで申込書をご請求ください。

賛助会員制度もご用意いたしております。詳しくは info@pi-forum.org までお問い合わせください。

特定非営利活動法人（内閣府認証） ピーアイ・フォーラム *PI-Forum* <http://www.pi-forum.org/>
事務局 〒780-0862 高知県高知市鷹匠町1丁目3-22